シンポジウム題目：水圏における地域の生物多様性研究を通した環境教育

●演題 2：地域の魚類多様性を反映した環境教育教材の制作と活用

演者：緒方悠輝也
所属：日本さかな専門学校

要旨：環境問題が広く取り上げられる昨今、一般の方々が「自分には何ができるか？」という問いに対して、すぐに解決策を見出すのは容易ではないのではないかと思います。そのため、演者はまず身近な自然環境を知ることから始めることが効果的だと考えました。特に、地域の水辺の自然や生き物が持つ楽しさや魅力を伝えることで、ネガティブなイメージにとらわれず、地域住民や子どもたちが外に出る機会を増やすことが、環境問題改善への貢献に繋がると信じています。そこで、演者らは、宮崎県の北部に位置する門川湾周辺の海域で地域の魚類多様性を調査し、その結果をもとに各種の教材を制作しました。これらの作品には、地域の魚類に関する基礎情報や観察手法、さらには水辺の自然環境の楽しさを感じさせる要素を盛り込みました。教材のコンセプトとしては、演者自身が調査過程で心惹かれた魚類やその生態を紹介し、地域住民や子どもたちが地域の環境に親しみ、積極的に学び、関与するきっかけとなることを目指しています。本講演では、これらの作品の制作の経緯や、実際に環境教育の教材として活用した事例ついて紹介します。